

令和3年度 事業報告書(令和3年 4月 1日から令和4年 3月31日まで)  
 特定非営利活動法人サロベツ・エコ・ネットワーク

事業分類	事業名	事業内容
自然再生	稚咲内砂丘林再生(町有林)	国立公園特別保護地区内において、ミズナラの森林(町有林)再生に向け、地域の方と一緒に苗畑の除草などの日常的な維持管理作業を行ったほか、秋に植樹イベントを実施し、230本の植樹を行いました。
	稚咲内海岸清掃	国立公園の稚咲内海岸に散乱している漂着ゴミ約2230kgを回収し、国立公園の美化に貢献しました。
	外来植物防除対策	国立公園内のオオハンゴンソウ(特定外来生物)などの外来種除去作業や周辺に広がっていないかどうか巡視を行いました。また、稚咲内砂丘林縁部は過去に多くのオオハンゴンソウが発見されているため、重点的に除去活動を行いました。
	稚咲内砂丘林再生(国有林)	国有林の調査区画において、エゾシカの食害調査、木々の計測等を実施した他、ミズナラ苗木の植樹などを行いました。
	コウホネ沼保全対策業務	2020年に移植したネムロコウホネのモニタリング調査及び移植元となる沼の調査を実施し、有識者ヒアリング及び助言のもと移植作業を行いました。
	サロベツ湿原緩衝帯モニタリング	6カ所の緩衝帯の調査を行いました。調査はドローンを使用して上空から行い、破損箇所等を取りまとめ、報告しました。
動植物調査	チュウヒ調査・普及啓発(日本野鳥の会)	チュウヒの繁殖状況調査を実施し、チュウヒの保全に向けたTシャツを作成し、地域住民へ普及啓発活動を行いました。
	チュウヒ調査普及啓発(環境省)	サロベツの国立公園周辺でチュウヒの繁殖調査を実施しました。秋には豊富町内で報告会を開催しました。
	シマアオジ分布調査(環境省)	シマアオジの生息地の繁殖状況調査、生息環境改善のために繁殖地に侵入したササの試験的除去を行いました。また報告会を開催し、シマアオジの国際的な状況も含め、危機的な状況を幅広く普及啓発を行いました。
	シマアオジ分布調査(日本野鳥の会)	シマアオジの生息地の繁殖状況調査を実施し、シマアオジ野鳥保護区における鳥類の生息状況を把握しました。
	タンチョウ調査(環境省)	サロベツ湿原においてドローンを用いたタンチョウ繁殖状況を調査し、同湿原内におけるタンチョウの繁殖状況を把握しました。
	タンチョウ調査(助成金)	北海道宗谷地方全域でドローンを使用して陸上からは発見が困難なタンチョウの巣や姿を探索し、繁殖状況の調査を行いました。秋に4羽捕獲し、足環、発信機を装着し、渡り経路を把握しました。講師2名による勉強会を開催しました。
	ガンカモ調査	ガンカモのモニタリングサイト1000に登録されている兜沼、ペンケ沼、振老沼(天塩町)でねぐら調査を春と秋に行い、種と個体数を数えました。
	ペンケ沼調査	ペンケ沼における水鳥・水深・面積調査等を行い、流入河川のゴミ調査を行い水鳥の中継地としてのペンケ沼の実態を把握しました。冬には豊富町で報告会を行いました。
	風力発電勉強会	風力発電事業による影響を関係者や地域の方々に伝えるための勉強会を講師を招いて冬に豊富町で開催しました。
	風力発電対応	周辺で計画されている風力発電計画に関する環境影響図書に対して景観や動植物への影響に関する意見書の作成、協議会の参加、情報収集を行いました。
高校生サブレンジャー	8月から12月までの期間に豊富高校生6名にサロベツ湿原センターで展示物製作、サロベツにおける動植物等自然情報の収集及び保全活動、館内管理を行っていただきました。	

令和3年度 事業報告書(令和3年 4月 1日から令和4年 3月31日まで)  
 特定非営利活動法人サロベツ・エコ・ネットワーク

事業分類	事業名	事業内容
環境教育	ジュニア パークレンジャー	地域の子ども達を対象に、自然保護の大切さや自然とのつきあい方、自然に対する思いやりなど、子どもの豊かな人間性を育むことを目的として国立公園での自然体験や環境学習会を実施しました。
	なまら サロベツクラブ	地域との交流を通して、人・地域・自然を愛する心を養い、サロベツはもとより幅広い場で活躍できる次世代の環境リーダーの育成を目指すことを目的に地域の子ども達を対象に、四季を通じてサロベツの自然を体験する活動を行いました。
	インターンシップ等	サロベツに来るインターンシップの大学生を受け入れました。
地域活性化	豊富町郷土資料室 資料整理	豊富町内の郷土資料を把握し、整理作業を行うと共に、今後に向けての保管・展示方針を検討しました。その他、資料室の移転作業後のデータの取りまとめを行いました。
	豊富温泉活性化 ツアー	湯治客や一般向けの定期体験プログラムとして豊富自然公園散策・ワシ観察会・ガンカモ観察会、温泉周辺で冬にスノーシュー散策をしました。
	国立公園誘客事業	温泉フットパスプログラム、パンケ沼・ペンケ沼でカヤックプログラムをそれぞれ企画し、実施しました。
施設維持管 理等	サロベツ湿原センター管 理運営・案内解説	サロベツ湿原センターの施設管理作業(館内清掃・展示物作成・施錠等)や、サロベツ湿原センターを訪れた方にサロベツ地域の自然情報提供、周辺の観光案内などを行いました。
	サロベツ湿原センタート イレ清掃・園地草刈	サロベツ湿原センターのトイレ清掃と園地草刈を行いました。
	サロベツ湿原センター 木道維持管理 自然再生協議会 普及活動推進 大学生サブレンジャー	国立公園内の木道の破損箇所の補修等を行い維持管理をしました。自然再生の普及推進のため、現地見学ツアーの開催、サロベツ・エコモー・プロジェクトの推進、各種イベントの企画・運営などを行いました。自然再生協議会の事務局業務を分担しました。サロベツ湿原センター及び幌延ビジターセンターで大学生を受け入れ、館内解説、木道ガイド、施設管理業務を実施してもらいました。
	サロベツ湿原センター 水質浄化湿地管理	サロベツ湿原センター敷地内にある水質浄化湿地を定期的に見回り、適切に機能しているかどうか点検作業を行いました。
	稚咲内トイレ清掃	海岸線を車でドライブする観光客の方などが快適に利用できるよう、稚咲内トイレの清掃作業を行いました。
	その他事業	物販
その他事業	レンタル	スノーシュー、長靴など、サロベツの自然を楽しんでもらうために必要な道具の貸し出しを行いました。
	ガイド等活動	サロベツを訪れた方を対象に自然の魅力を伝える有料ガイド事業を行いました。
	募金・寄付金	サロベツの自然の保全活動や環境教育活動の支援を呼びかける募金箱を設置し、寄付を募りました。